

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子ども家庭福祉		教員氏名	中野陽子	
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	社会福祉士	7年
テーマ	子どもとその家族の福祉について学ぶ				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	<p>教科書および授業内で配布する資料を中心に講義形式で行う。より具体的な理解を促すために、新聞記事やDVD等視覚教材も使用する。</p> <p>学生によるグループワークやディスカッションも実施する。</p> <p>社会福祉士として障がい者施設での勤務経験の他、児童養護施設等での実習経験、子ども家庭福祉ゼミに所属し研究したことを踏まえ授業を展開する。</p>				
授業の到達目標	子ども、家族を取り巻く社会状況を理解し、私たちにとって身近な生活課題としての「子ども家庭福祉」について論じることができる。				
	子ども家庭福祉の理念・歴史・制度の概要を理解し説明できる。				
	子どもの権利を護る保育者（保育所をはじめとする児童福祉施設や幼稚園等において子どもの成長発達を援助する専門職）としての価値観・倫理観を英開始実践できる。				
テキスト	学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会「保育と子ども家庭福祉」櫻井奈津子編著／保育福祉小六法2021				
参考書	保育所保育指針、授業内で随時紹介				
ポートフォリオ	授業内で指示				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	達成度確認テスト50%、授業に臨む姿勢50%		
	その他				
授業概要と課題					

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・はじめに 子ども家庭福祉を学ぶ意義について	
	授業外学習	教科書のはじめにを熟読し、めざす自分にとって、子ども家庭福祉を学ぶ意義についてまとめる。	210分
第2回	テーマ 内容	第2章 子どもの権利(子どもの権利を理解し、コルチャック先生の子ども観を学ぶ)	
	授業外指示	第2章を熟読し、コルチャック先生による「子どもの権利大憲章」を読み、彼の子ども観をまとめる。子どもの権利条約を熟読する。	210分
第3回	テーマ 内容	第1章 子どもと家庭を取りまく現状①(子どもの定義、家族機能、データから見る子どもを取り巻く日本の生活環境)	
	授業外指示	第1章と配布資料を熟読し、子ども家庭福祉を取り巻くデータを振り返り、現状と課題についてまとめる。	210分
第4回	テーマ 内容	第1章 子どもと家庭を取りまく現状②(少子高齢化についてディスカッション)	
	授業外指示	第1章を熟読し、少子高齢社会について自身の考えをまとめる。	210分
第5回	テーマ 内容	第1章 現代社会における子ども家庭福祉の課題について	
	授業外指示	これまでに学んだことや、授業時に他者から聞いた発表をもとに現代社会における子ども家庭福祉の課題について自身の考えをまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	第3章 子ども家庭福祉の歴史①(イギリス・アメリカを中心に子ども家庭福祉の変遷を学ぶ)	
	授業外指示	第3章を熟読し、イギリスの子ども家庭福祉の変遷について、年代順に重要項目をまとめる。	210分
第7回	テーマ 内容	第3章 子ども家庭福祉の歴史②(日本の子ども家庭福祉の変遷を学ぶ)	
	授業外指示	第3章を熟読し、日本の子ども家庭福祉の変遷について、年代順に重要項目をまとめる。また、子ども家庭福祉の先駆者の取り組みをまとめる。	210分
第8回	テーマ 内容	第4章 子ども家庭福祉の制度と法体系(日本の子ども家庭福祉に関する法律・制度を学ぶ)グループワーク	
	授業外指示	第4章を熟読し、各法律の要点をまとめたうえで、児童福祉法改正のポイントについてまとめる。	210分
第9回	テーマ 内容	第5章 子ども家庭福祉行財政と実施機関と専門職(日本の子ども家庭福祉に関する行政機関・財源・児童福祉施設について学ぶ)	
	授業外指示	第5章を熟読し、児童福祉施設やそこで働く専門職の機能・役割についてまとめる。	210分
第10回	テーマ 内容	第9章 児童虐待とドメスティックバイオレンス	

第10回	授業外指示	第9章と配布資料を熟読し、児童虐待やDVの状況をまとめ、児童虐待やDVが子どもの育ちにどのような影響を与えるかまとめる。	210分
第11回	テーマ内容	第11章 ひとり親家庭への福祉(ひとり親家庭への福祉施策を学ぶ)グループディスカッション	
	授業外指示	第11章を熟読し、授業で学んだことを振り返り、ひとり親家庭の貧困状況について調べまとめる。	210分
第12回	テーマ内容	第13章 情緒障がい・少年非行(少年非行問題への対応を学ぶ)	
	授業外指示	第13章を熟読し、少年法改正についておよび少年非行の防止のために必要な対応について自身の考えをまとめる。	210分
第13回	テーマ内容	まとめ・子ども家庭福祉の学びを振り返る	
	授業外指示	子ども家庭福祉について授業で学んだことを総括する。	210分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたリアクションペーパーについて、授業時に口頭やパワーポイントで映し出しフィードバックを行う。

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子ども家庭福祉		教員氏名	中安恒太	
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	卒業必修		実務経験	児童養護施設指導員	9年
テーマ	子どもの最善の利益を護るための、子どもの育ちとその家族の子育てに対する福祉施策を理解する。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	児童養護施設に児童指導員として勤務し、社会福祉士として福祉現場に従事した経験から、ソーシャルワークの視点も活用しながら子ども家庭福祉の現場実践に必要な知識・技術・倫理について講義する。また、具体的な理解を深めるために、視覚教材を用いたり、ペアワーク等も行う。				
授業の到達目標	日本における現代の子育てに関する諸問題を理解し、なぜ子育て支援が必要なのかを述べることができる				
	子ども家庭福祉に関する理念や制度について述べるができる				
	子どもやその保護者等の抱える困難を支援するために保育士として必要な知識・倫理について述べるができる				
テキスト	喜多一憲(監修)「子ども家庭福祉」株式会社みらい				
参考書	なし				
ポートフォリオ	ICT(Googleクラスルーム含む)を活用した補足資料(レジュメ)・課題提示や回収等を実施する				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応す				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(Googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度 出席態度等	100	授業内で実施する学びのまとめ(課題の提出・確認テスト等)70%+リアクションペーパー・参加意欲度30%		
	その他				
授業概要と課題					

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、子ども家庭福祉の概要	
	授業外学習	最も関心を持った「子ども家庭福祉」に関するニュースを新聞やネット記事から探し、なぜその話題が最も気になったのかまとめる。	210分
第2回	テーマ 内容	現代社会と子ども家庭福祉	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第3回	テーマ 内容	子どもの人権とは何か	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第4回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の成立と展開	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第5回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の法体系・行財政・機関・施設	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第6回	テーマ 内容	子育て支援・次世代育成支援と保育施策	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第7回	テーマ 内容	母子保健施策とひとり親家庭への福祉施策	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第8回	テーマ 内容	子ども虐待とDV問題の防止施策	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第9回	テーマ 内容	社会的養護を必要とする子どもへの福祉施策	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第10回	テーマ 内容	障害のある子どもへの福祉施策	

第10回	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第11回	テーマ 内容	心理治療の必要性や非行問題を抱える子どもへの支援	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第12回	テーマ 内容	子ども家庭福祉の専門職との連携	
	授業外指示	[事前学習]教科書・配布プリントに目を通し、内容の理解と疑問点等を整理する [事後学習]教科書・配布プリントを見直し整理する	210分
第13回	テーマ 内容	これまでのまとめ	
	授業外指示	これまで学んだ内容をノートにまとめる	210分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業前後の時間及びオフィスアワー(別途掲示)に対応する。
- ・提出されたレポート等は、授業時及びグーグルクラスルームにてフィードバックを行う。